

第一回 茨城県美しい水土里づくり 優良活動表彰 事例集

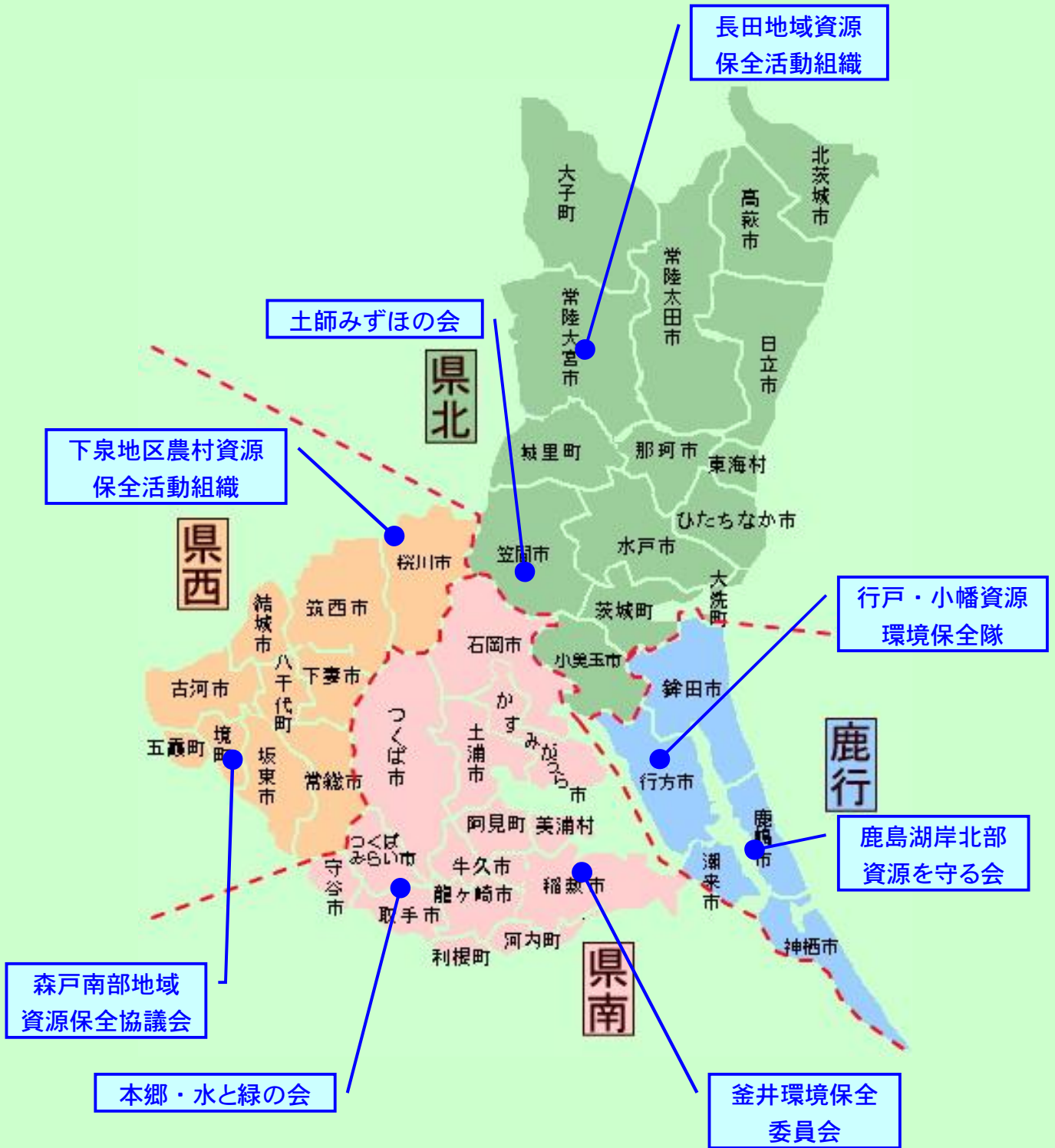
〔農地・水・環境保全向上対策部門〕

平成20年11月



みんなで進めよう
茨城農業改革

優良事例位置図



目 次

【最優秀賞】（茨城県知事賞）

- 地域が一体となり，遊休農地を活用したビオトープの整備などに取り組む
土師みずほの会（笠間市）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

【特別賞】（茨城県土地改良事業団体連合会長賞）

- 土地改良区や農業者だけでなく地域全体で，水路などを徹底的に保全する
鹿島湖岸北部資源を守る会（鹿嶋市）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

【優秀賞】（茨城県農林水産部長賞）

- 地域が一体となり，遊休農地を活用した景観形成や稲作体験に取り組む
長田地域資源保全活動組織（常陸大宮市）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
- 小学校と連携し，コスモスの植栽や田んぼの生き物調査などに取り組む
行戸・小幡資源環境保全隊（行方市）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
- 大規模化などで農業者が減少するなかで，地域一体で環境保全に取り組む
釜井環境保全委員会（稲敷市）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
- 都市化が進む中で，地域住民と一体となり，農地の保全や交流に取り組む
本郷・水と緑の会（取手市）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
- 地域一体で遊休農地に植栽するなど，笑顔の絶えない里づくりを目指す
下泉地区農村資源保全活動組織（桜川市）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
- 地域が一体となり，ホタルの保全活動など生態系の保全に取り組む
森戸南部地域資源保全協議会（境町）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

地域が一体となり、遊休農地を活用したビオトープの整備などに取り組む

土師みずほの会（笠間市）

1 対象資源



農地	開水路	農道
25ha	18km	6.4km

2 構成員



3 取組概要

- ・ 当地域は、南限・北限（北緯 36 度 20 分前後）の動植物が混在して生息し、一級河川涸沼川・桜川の合流点に水田がひらけ、集落の背後には鎮守の森を中心に平地林があり、豊かな生態系を形成しています。また、弥生遺跡（島屋敷）や天狗党明神山戦場など歴史遺跡、淡島神社お田植え祭や針供養など、長い歴史を引き継いだ年中行事も健在です。
- ・ このため、こうした豊かな自然と先人が刻んだ歴史と文化を後世に譲り渡すため、農地や水の保全だけでなく、農村環境の保全と質の向上に努め、将来に渡り良好な状態で継続的に維持される共同活動の形成を目的として、「土師みずほの会」が設立されました。
- ・ 土師区全戸加入の「自治会」、水田利用者による「水利組合」、環境を美しくすることを目的とする環境ボランティア「土師ひやくしょう塾」の三者が中核となり、関係団体の協力を得ながら活動しています。
- ・ 「ムラ仕事」の考え方（無償出役）に学び、かつての「ムラの寄り合い」を活かし、話し合いと情報交換（会合、勉強会、会報、ブログ等）を密にし、多くの方に参加してもらうことにしました。

4 主な活動実績

準備点検	計画・啓発	実践活動
施設の点検，機能診断 (4～6月) ①	作業スケジュール 作成 (4月)	農用地，開水路，農道整備，草刈 (4～7月) ② 芝焼き (2月)
	生態系保全，環境 保全 実施計画 策定 (4月)	水質保全 : 用水路に炭を投入 (5, 10月) 生態系保全 : 花壇・ため池・ビオトープ (めだか池) 整備 (4～3月) 生態調査 : 水源探査，生き物調査③ (7, 11月) 遊休地 : 蕎麦まき・収穫 (8, 10月) 情報発信 : 会誌発行，ブログ発信，区総会④，老 人会報告



①：施設の点検，機能診断



②：草刈



③：生き物調査



④地域での話し合い

生き物調査などを通し，自然の豊かさ，先人の努力を
理解し，地域でまとまりが持てるようになりました。

5 取組の効果及び今後の展望

- ・ 先進地視察・研修会・生き物調査・水源地探査を通して，「自然の豊かさ」「先人の努力」「地域のまとまり」を，地域住民全体で持つことができました。
- ・ 各種活動の中で各自が能力を発揮することにより，相乗効果で活動の成果が高まっています。また，自主的に花づくり，草刈，ゴミ拾いなどをする人が増えました。
- ・ 今後は，ビオトープを活用した学校教育との連携を進めるとともに，水車・田んぼの小径・遊歩道などを整備するなど，活動のレベルアップを目指していきます。

※ 土師みずほの会ブログ <http://hajimizuhoblog112.fc2.com/>

土地改良区や農業者だけでなく地域全体で、水路などを徹底的に保全する

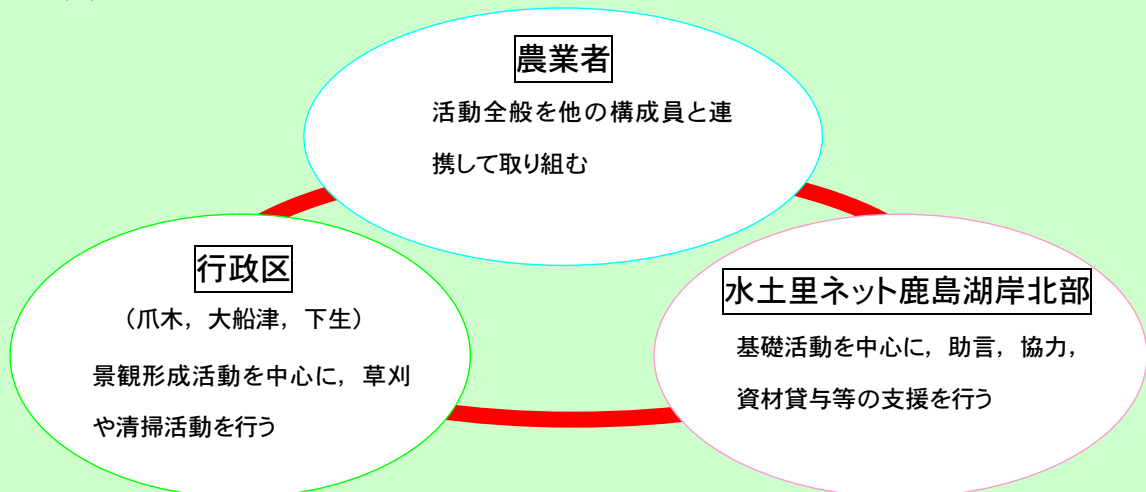
鹿島湖岸北部資源を守る会（鹿嶋市）

1 対象資源



農地	開水路	農道	パイプライン
100ha	18.2km	17.3km	23.6km

2 構成員



3 取組概要

- ・ 当地域は、県営ほ場整備事業鹿島湖岸北部地区で整備された地域で、資源の保全・管理は、土地改良区や組合員である農業者が中心となって行ってきました。しかし、近年農業者等の高齢化に伴い、地域の保全管理体制は脆弱化しつつありました。
- ・ このため、地域全体で保全・管理活動を行うとともに、地域資源や農業と触れあう機会の確保に努めています。

4 主な活動実績

 <p>①</p>	<p>準備点検・計画策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の点検・機能診断 (6/13) ・ 遊休農地の把握 (6/13) ・ 年度活動計画の策定 (7/22 ①)
 <p>②</p>	<p>基礎部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水路の草刈 (7/22) ・ 水路の泥上げ (8/5 ②) ・ 農道の砂利の補充 (8/18) …等 <p>水路の泥上げで畦畔が復活しました。</p>
 <p>③</p>	<p>農地・水向上活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各施設の雑草対策 (9/23 ③) ・ 農用地法面の補修 (11/18) ・ 破損パイプラインの改修 (12/4) …等 <p>農地がきれいになり、気持ちよく生活できるようになりました。</p>
 <p>④</p>	<p>農村環境向上活動【景観形成・生態系保全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民との協力した清掃活動 (8/19) ・ 水路の生き物調査 (9/23 ④) ・ 子供達との清掃活動 (12/23) …等

5 取組の効果及び今後の展望

- ・ 計画策定段階でしっかりとした打合せが行われ、翌年も見越してきめ細かく保全・管理計画が作られています。
- ・ このため、各施設はしっかり保全・管理されており、水路の泥上げ等も協力しながら行っています。
- ・ また、地域住民の参加率も高く、対策への理解や必要性に対する認識が進んでいます。
- ・ 構成員には名を連ねていませんが、子ども会もゴミ拾いや水質・生き物調査等に参加しており、こうした地域の連携により、取組みを更に向上していきたいと考えています。

地域が一体となり、遊休農地を活用した景観形成や稲作体験に取り組む

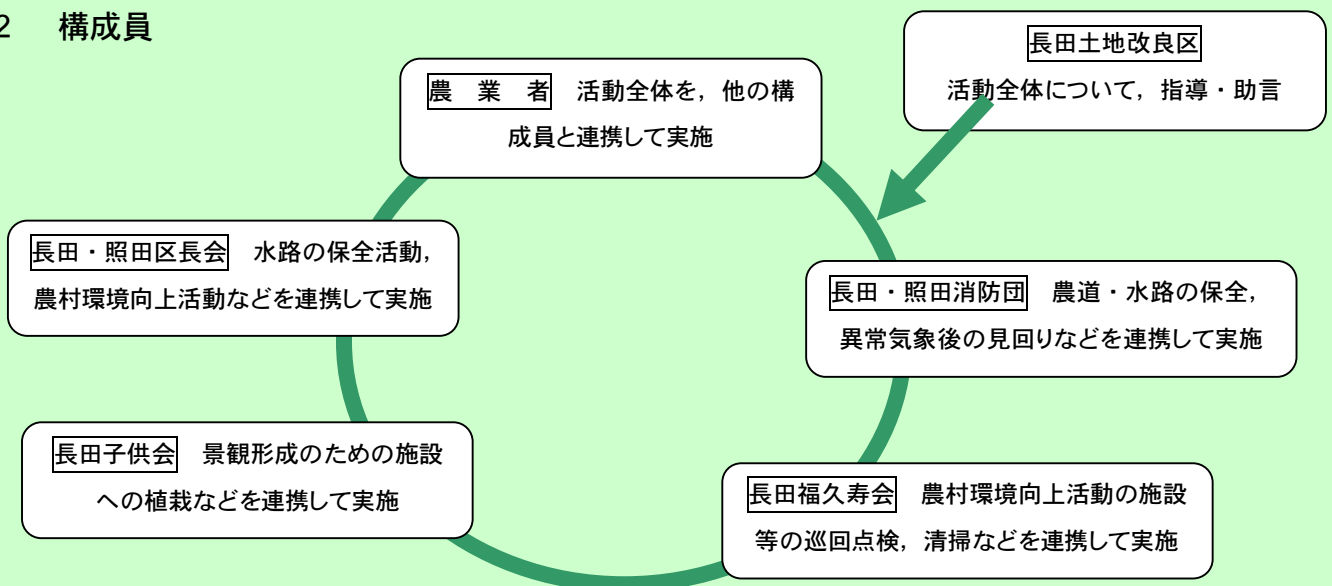
長田地域資源保全活動組織（常陸大宮市）

1 対象資源



農地	開水路	農道	パイプライン	ため池
91.1ha	21.2km	17.5km	31.5km	4ヶ所

2 構成員



3 取組概要

- ・ 当地域は、県営ほ場整備事業長田地区で整備された地域です。農地や農業用水などの保全は、これまで長田土地改良区や集落の共同作業及び隣接耕作者が行っていましたが、管理が行き届かない箇所が発生していました。
- ・ このため、農業者を中心に地域の将来を考え始め、地域リーダーが先頭に立ち、地域をまとめることにより、本対策を実施することになりました。
- ・ なかなか地域住民の賛同が得られなかったため、どのように地域住民に参加してもらうかを考えた結果、農村環境向上活動が最も地域が関心をもった活動であると気づき、田んぼの生き物調査など子どもが参加できる活動を行い、少しずつ地域全体に理解を求めていきました。
- ・ また、本対策の他にも、自治会での草刈り、土地改良区主催の草刈りなどがあり、本対策を広報するためにも、広報誌やのぼりなど PR 活動にも力をいれることにより、地域に活動が浸透してきました。

4 主な活動実績

準備点検	計画・啓発	実践活動
農用地，農業用施設の 点検 (4月) ①	基礎部分，誘導部 分の計画策定 (4月) ② 景観形成作物の 作付け栽培講習 (10月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農地周辺，農業用施設の草刈や泥上げ（7月他） ・ 農道の砂利補充（9月）③ ・ 遊休農地を活用し，子供会などが米づくり体験（4～3月）④ ・ パイプラインの腐食防止材の塗布（12月）⑤ ・ 遊休農地を活用し，景観作物を作付 ・ 学校教育と連携し，水路等の水質検査（8月）⑥ ・ 学校教育と連携し，生き物調査（8月）



①：農業用施設の点検



②：計画策定



③：農道の砂利補充



④：米づくり体験



⑤：腐食防止材の塗布



⑥：水路等の水質検査

5 取組の効果及び今後の展望

- ・ 遊休農地の利活用と農村環境向上活動とを一体的に行うことにより，地域の一体感や資源の保全への意識が高まってきました。
- ・ 異常気象後の見回りを徹底することにより，関係者の防災意識が高まりました。また，パイプラインなどの保全も，早めの補修により長寿命化を図ることができました。
- ・ 遊休農地を子供たちの体験農場とし，水質調査や生き物調査を子供会と連携することによって，次世代を担う子供たちの農業や環境に対する意識啓発を図ることができました。
- ・ 市内だけでなく県外の他の活動組織の視察が多く，交流を図っているところですが，今後とも，地区内外の交流を深めることによって，活動の質を高めていきたいと考えています。

小学校と連携し、コスモスの植栽や田んぼの生き物調査などに取り組む

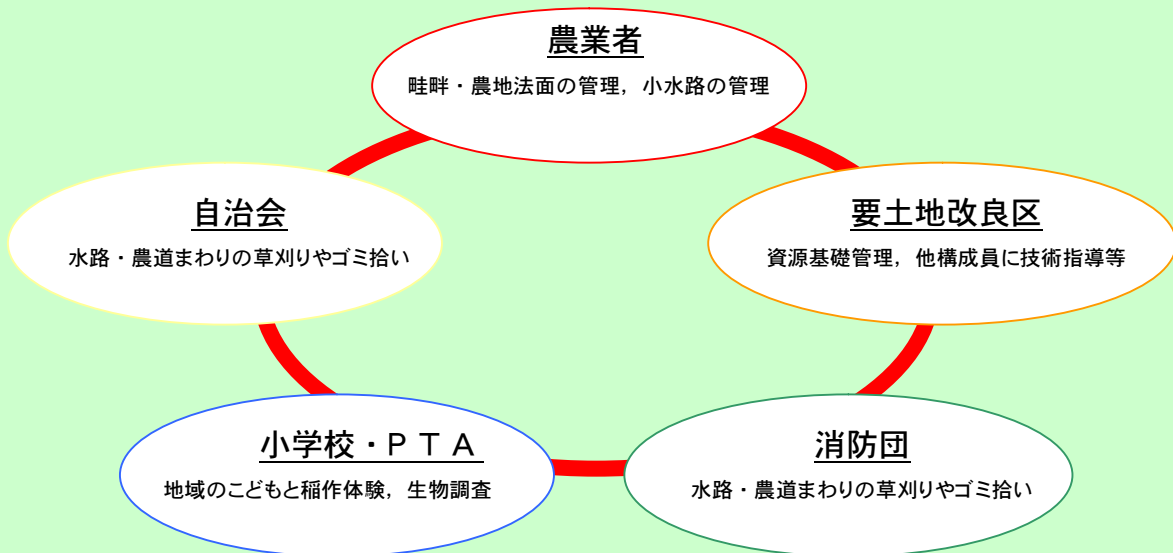
行戸・小幡資源環境保全隊（行方市）

1 対象資源



農地	開水路	農道	パイプライン	ため池
45ha	27km	13km	34km	7箇所

2 構成員



3 取組概要

- ・ 当地域では、従来から、土地改良区と各自治区が各々の役割分担のもと地域資源の保全・管理を行ってきました。
- ・ しかし、農業者の高齢化や人口の減少等が今後も進行していくことが懸念され、今後の地域資源の保全・管理水準の低下が心配されていました。
- ・ 元々土地改良区と自治区が連携して共同活動していたため、事業の取り組みにも意欲的であり、更に、小学校・PTAも参加することで、小学生に対する環境教育の取組みが進められるようになりました。

4 主な活動実績

準備点検	計画・啓発	実践活動
施設の点検(4/7) 遊休農地の把握 (4/7) 施設の機能診断 (4/7) …等	計画策定(5/14) 田植え体験(5/2 ②) 水質モニタリングの実施(6/19 ③) コスモスの播種(6/28 ④)	水路の草刈り (8/26 ①) パイプラインの清掃 (4/7) ため池の補修 (7/6) 機場敷地内の清掃 (7/16) 生物の生息状況の把握 (8/1)



①：水路の草刈り



②：田植え体験



③：水質モニタリング



④：コスモスの播種

5 取組の効果及び今後の展望

- ・ 当地域では、基礎的な活動を行うだけでなく、小学校との連携も積極的に行われています。
- ・ 田植え体験や水質モニタリング等の活動を通して、小学生の農業への知識と関心が高まりつつあります。
 また、水路脇の荒れ地を活用してコスモスの種を蒔いて育てることで、地域への愛着を感じてもらえるようになりました。
- ・ 今後も、積極的に活動することで、次世代の農業の担い手を育て、地域資源の保全に関わっていく住民の連帯感を深めていきたいと考えています。

大規模化などで農業者が減少するなかで、地域一体で環境保全に取り組む

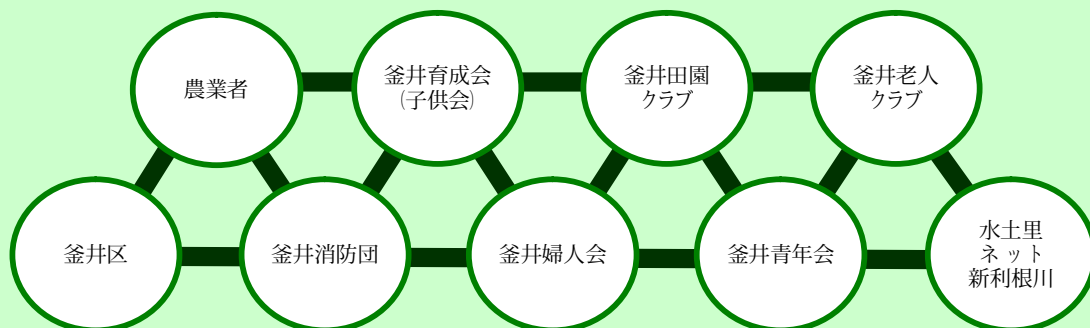
釜井環境保全委員会（稲敷市）

1 対象資源



農地	開水路	パイプライン	農道
64.6ha	10.2km	10.7km	13.5km

2 構成員

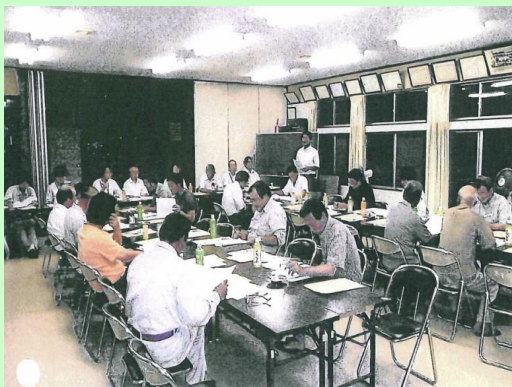


3 取組概要

- ・ 本地域は、稲敷市の東部に位置し、中央部に一級河川新利根川が流れる水田地帯で、県単土地改良事業「佐原組地区」と団体営ほ場整備事業「釜井地区」で整備された地域です。
- ・ 地域の農業者は、大規模化などで減少してきており、農地などの保全管理の負担が増してきている状況です。また、年月の経過により水路に泥が堆積し、計画的な管理が必要となってきています。
- ・ 更に、近年の道路沿いの農地や排水路へのゴミの不法投棄の増加は、農地を持つ農業者だけの問題ではなく、地域としても問題になっています。
- ・ このため、農地そして生活環境をより美しく保全し、地域の活性化を図るとともに、人と人との交流を積極的に醸成し、豊かな地域づくりと環境保全循環型の社会・農業の推進を目的として、活動を行うこととしました。

4 主な活動実績

準備点検	計画・啓発	実践活動
施設の点検（パイプライン、開水路、農道）（7/15） 異常気象後の見回り（9/7）	役員会議（7/6） 委員会総会（7/9）① 住民への広報活動（2/1）	用水前のパイプラインの整備（4/2） 生態系調査（5/20） ほ場・畦畔・法面の草刈り（6/20）（7/29）② 地区の清掃活動（7/1）（3/1）④ 農道の初期補修（8/12）③ パイプラインの破損箇所の補修（2/27）



①：総会



②：草刈り



③：農道の初期補修



④：清掃活動

5 取組の効果及び今後の展望

- ・ 農地などの保全管理が、以前よりも適切に行うことができ、地域住民も、清掃活動を行うことにより、農地への関心が高める事ができました。
- ・ また、堆肥を活用した減農薬栽培などの新たな取り組みを行い、より良い農業を行う気運が高まっています。
- ・ 今後も、活動を続けることにより、環境保全循環型の社会・農業を目指していきたいと考えています。

都市化が進む中で、地域住民と一体となり、農地の保全や交流に取り組む

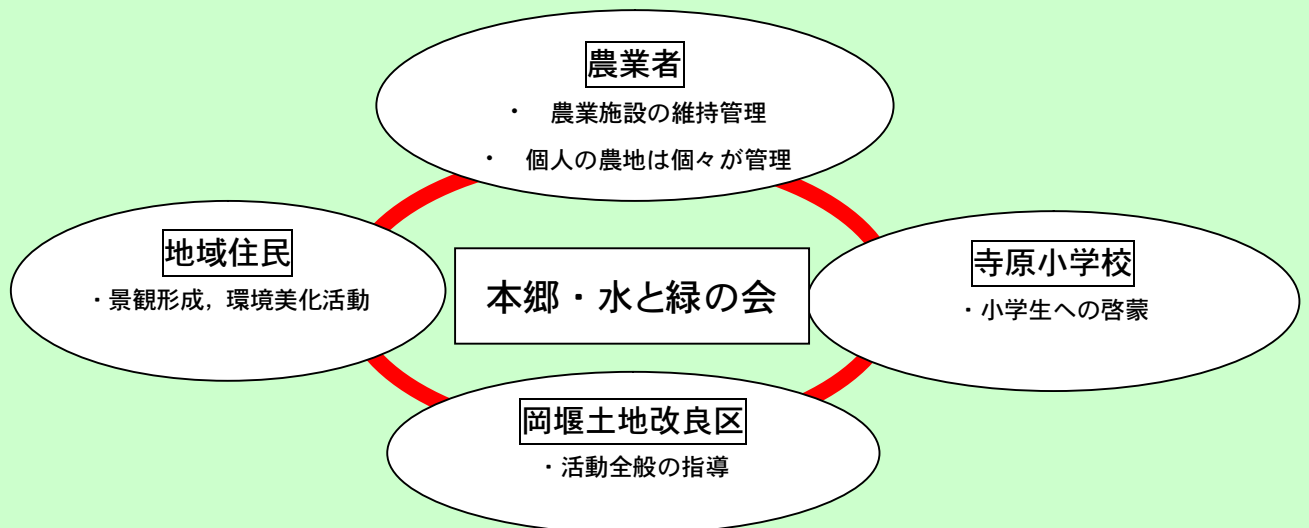
本郷・水と緑の会（取手市）

1 対象資源



農地	開水路	農道	パイプライン
31.1ha	11km	8km	4km

2 構成員



3 取組概要

- ・ 当地域は、取手市の中部に位置し、一級河川相野谷川が流れる水田地帯です。
- ・ これまでは、農業施設の保安全管理を、地元の農業者を中心に取り組んできましたが、都市化により悪化した環境の改善と、混住化により薄れつつある共同活動精神を復活するため、地域住民を巻き込んだ組織を設立し、本対策に取り組むこととしました。

4 主な活動実績

準備点検	計画・啓発	実践活動
<ul style="list-style-type: none"> ・遊休農地の把握(8/11) ・施設の点検 (8/11) ・施設の機能診断(10/20) 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動(看板設置)(4/12) ・学校教育との連携(田植え学習 5/18 ①)(稲刈り学習 9/26)(交流会 10/17) 	<ul style="list-style-type: none"> ・泥上げ (4/3) ・草刈り(6/3 ②) ・施設への植栽 (6/9 ③) ・台風後の見回り (7/16) ・水質モニタリング(8/11 ④)



①：田植え学習



②：草刈り



③：施設への植栽



④：水質モニタリング

5 取組の効果及び今後の展望

- ・ 農業者・非農業者を問わず，農業施設や農村環境に対する意識が高まりました。
- ・ また，農道周辺への花壇の植栽や管理を，農業者と地域住民が共同で行うことにより，お互いが親近感を持つようになり，集落としてのまとまりも出てきました。
- ・ 小学生も，田植え体験などにより，農業や水田について興味をもつようになりました。
- ・ 取手市のホームページ※に活動状況を随時掲載するなどの PR も行っており，地域での認知度も高まってきています。
- ・ 今後とも，農業施設の保全管理を適切に行っていくとともに，農村集落の結びつきを強める農村環境美化活動や，次代を担う子ども達への啓発活動を行い，地域の農業資源を恒久的に保全出来るような体制をつくっていきたいと考えています。

※ <http://www.city.toride.ibaraki.jp/index.cfm/12,0,81,407.html>

地域一体で遊休農地に植栽するなど、笑顔の絶えない里づくりを目指す

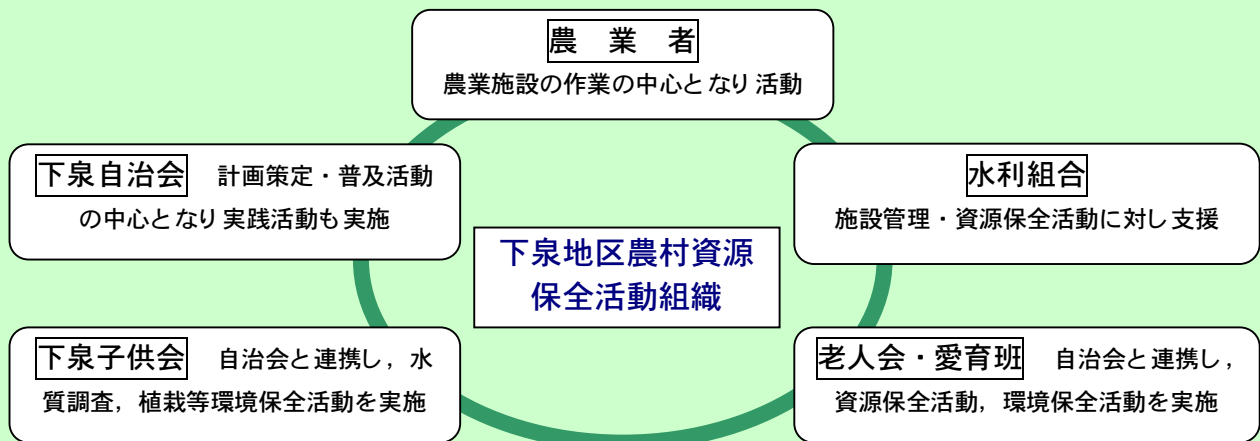
下泉地区農村資源保全活動組織（桜川市）

1 対象資源



農地	排水路	農道	パイプライン
25.7ha	3.2km	3.2km	5.3km

2 構成員



3 取組概要

- ・ 当地域は、桜川市北部に位置し、山を挟んで栃木県と接する農村地域です。
- ・ 60戸からなる小さな集落で、以前はほとんどの人が農業を営んでいましたが、時代の流れと共に、農家数が半減しました。
- ・ 担い手農家による耕作が進んでいるものの、水路などの保安全管理に手が回らず、課題となっていたため、本対策を実施し、地域で保安全管理に取り組むことにしました。
- ・ また、遊休農地の周辺への影響が懸念されていたため、子供会の協力を得て、植栽活動などを行い、有効利用を図ることとしました。

4 主な活動実績

区分	日付	活動内容	写真番号
設立総会	19/4/58	組織の設立総会，事業計画の承認	
子供会説明	19/4/22	子供会父兄に対する事業協力依頼の説明	
点検活動	19/4/22	道路，排水路，パイプラインの点検活動	①
機能診断	19/5/27	道路，排水路，パイプラインの機能診断	
清掃活動	19/5/27	地区内の空き缶拾い等の清掃活動	
共同活動	19/6/3	道路，排水路，調整池，遊休地の草刈り	②
植栽活動	19/7/1	子供会による幹線農道沿いの植栽活動	
植栽活動	19/8/18	子供会及び役員による植栽ほ場の草取り	③
共同活動	19/8/26	道路，排水路，調整池の草刈り	
水質調査	19/12/23	子供会による地区内排水路の水質検査	
共同活動	20/2/23	農道側溝の泥上げ及び法面補修。排水路法面補修	
広報活動		小学校でのPR資料の展示	④

土地改良施設の補修を，自分達で行うという意識が芽生えました



①：施設の点検



②：水路の草刈り

野外活動を通じ，子供達の生き生きとした，笑顔を見ることができました



③：植栽ほ場の草取り



④：小学校での広報活動

5 取組の効果及び今後の展望

- ・ 農業・農作業が嫌で離農した自治会員も多くいますが，今回の取組に快く協力してくれ，全員で地域を守るという一体感が感じられました。
- ・ また，子供達は，塾や習い事等で時間がなく，少ない時間での遊びは室内ゲームという状況ですが，今回の活動では，のびのび生き生きとした笑顔にあふれて，まさに好奇心の塊のようでした。これは，農地・農村環境の中で得られる財産であると考えています。
- ・ 大人達には，育てられた自然，農村環境を改めて見直し，子供達の笑顔が絶えることのない地域作りをして，次世代に引き継ぐ責任があります。このため，今後は，こういった活動を，更に充実させていきたいと考えています。

地域が一体となり、ホタルの保全活動など生態系の保全に取り組む

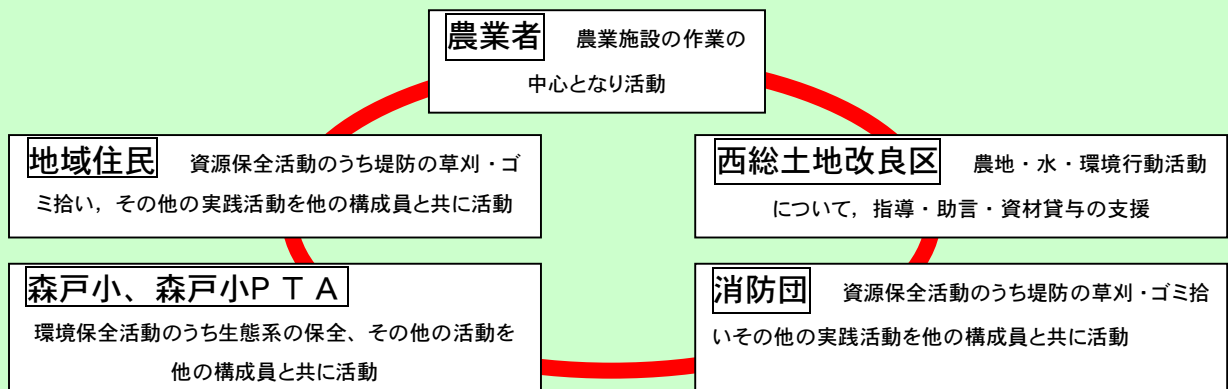
森戸南部地域資源保全協議会（境町）

1 対象資源



農地	開水路	農道	パイプライン	ため池
55.7ha	7km	11km	12km	1ヶ所

2 構成員



3 取組概要

- ・ 当地域は、猿島郡境町の南部の利根川左岸に位置し、利根川と猿島台地に挟まれた水田地帯で、県営ほ場整備事業西総地区の一部として昭和 53 年～昭和 57 年に施工されました。
- ・ 首都近郊の生鮮野菜の産地であり、営農意欲が高く比較的農業後継者も多くいる土地柄ですが、農業者の高齢化や混住化が進み、今まで農業者のみで行ってきた農業施設の保安全管理も、徐々に困難になりつつありました。
- ・ このため、区長会や地元小学校、消防団などに呼びかけて、協議した結果、排水が当地域内の水路に流れ込む若林・百戸・桐ヶ作・新田戸の地域住民と、森戸小学校・同P T A・消防団が参画し、保安全管理に取り組むこととなりました。
- ・ そこで、右のようなチラシを4 回にわたって地域に配布し、趣旨の説明や活動の予定を知らせて、周知徹底を図りました。



(①：チラシの配布)

4 主な活動実績

準備点検	計画・啓発	実践活動
施設の機能診断 (9/28)	作業スケジュール作成(4/4) チラシの配布(4回・5月2回, 7月, 12月①) 作業スケジュール確認(11/27)	ホタル幼虫の放流会(5/20②) 水路の草刈り・ゴミ拾い(6/3③) ホタル鑑賞会(7/16④) 水路の草刈り・ゴミ拾い(8/12) 危険箇所の草刈(11/5.6) 水路の枯草焼却(2/11⑤)



②：ホタル幼虫の放流会



③：水路の草刈り・ゴミ拾い



④：ホタル鑑賞会



⑤：水路の枯草焼却

5 取組の効果及び今後の展望

- ・ 農業施設の状況を把握し、保全管理した結果、特に地域住民の方の農業施設への関心が高まり、農業者との交流がより促進されました。
- ・ また、子供会（PTA）を中心としたホタルの生態調査や道水路の草刈り・ゴミ拾い活動により環境美化やエコロジーへの関心が高まり、地域のまとまりが従来にも増して強くなりつつあります。
- ・ 今後も、活動を積極的に行うことにより、地域の交流を深めるとともに、地域の共有財産である農業資源と農村景観を守っていきたいと考えています。

みんなで守ろう 農村地域の資源・環境

－ 農地・水・環境保全向上対策 －

農業生産の基礎となる農地や農業用水を始め農村の環境や美しい景観は、農業者だけでなく地域住民も含めたみんなの財産です。
これらを地域一体となって守り、育てていく活動を支援しています。

- 用水路や農道などの生産資源を、将来にわたり良好な状態で守っていきます。



用水路の泥上げ



農道の砂利補充

- 地域の人々が参加して草花の植栽や水路の水質調査等を行うことにより、地域への関心を高め、美しい農村の自然環境や景観を守っていきます。



農道周辺への花の植栽



水路の水質調査

- 茨城県農村環境課 農村環境農道担当 TEL029-301-4259
- 資源保全県北地域協議会（水土里ネット茨城県北事業所） TEL029-225-5655
- 資源保全鹿行地域協議会（水土里ネット茨城県鉾田出張所） TEL0291-33-5661
- 資源保全県南地域協議会（水土里ネット茨城県南事業所） TEL029-823-2354
- 資源保全県西地域協議会（水土里ネット茨城県西事業所） TEL0296-24-5851

ホームページ（いばらきの農村発見） <http://www.pref.ibaraki.jp/nouson/>

（平成 20 年 11 月作成）